



パラリンピックでの活躍を誓う選手ら

パラ五輪代表6人 大舞台で健闘誓う

仙台・壮行会

ロンドン・パラリンピック(29日～9月9日)に出場する仙台市在住の選手6人と監督らの壮行会が7日、青葉区の市福祉プラザで開かれた。花

束と激励金を受け取った選手らは大舞台での活躍を誓った。

市障害者スポーツ協会などが主催し、関係者約100人が出席した。奥山恵美子市長は「皆さんの出場は被災地の大きな励み。大会では力をフルに発揮してほしい」と激励した。

3回目の出場となる車いすバスケットボール男子の藤井新悟さん(34)＝宮城マックス＝は一東曰く「本大会後は思うように練習ができなかった。バスケットができることに感謝

し、人生を懸けて戦う」と抱負を語った。

ロンドン大会には他に、車いすバスケの東海林和幸さん(36)、豊島英さん(23)、中沢正人さん(29)、藤本怜央さん(28)＝いずれも宮城マックス＝と、ウィルチエアラグビーの庄子健さん(32)＝日本ロレアル＝が出場する。

監督は車いすバスケの岩佐義明さん(54)＝宮城マックス＝、柔道男子の遠藤義安さん(52)＝東北学院大職＝の2人で、医師の室谷嘉一さん(35)＝東北大病院＝も帯同する。